

浦安海岸入船地区の護岸について

令和8年 9月12日（土）

千葉県

1. 浦安海岸入船地区の管理用通路の陥没について



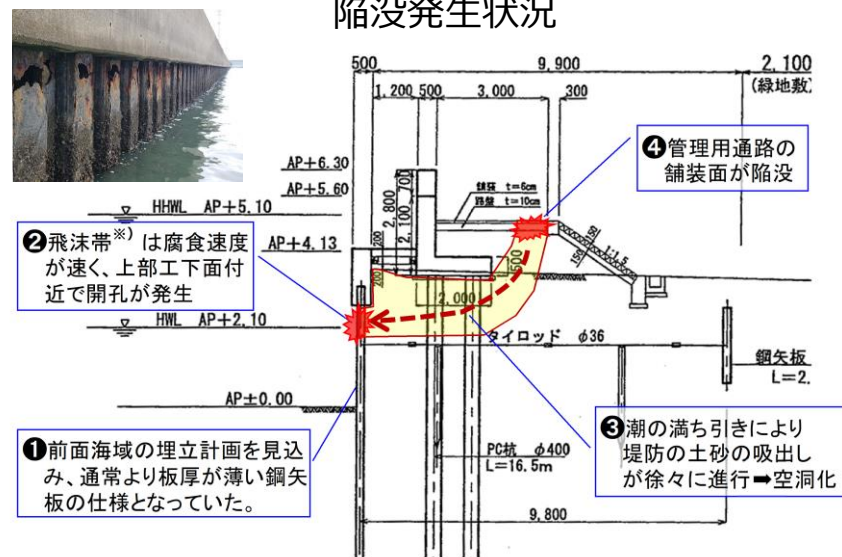
対象箇所位置図・広域図

- ・令和4年4月10日に浦安海岸入船地区（浦安市入船4丁目地先）の管理用通路の一部で陥没が発生した。

・護岸は完成してから55年が経過しており、護岸矢板の腐食が急速に進行し、穴が生じたことで、堤防の土砂が海側へ吸い出されたことが要因である。



陥没発生状況



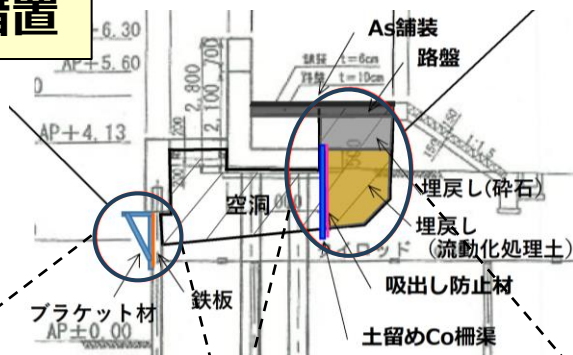
陥没メカニズムの推察

2. 陥没発生から現在までの整備状況

県では、これまで下記の対応を進捗してきた。

令和4年4月	陥没確認
令和4年5月～10月	応急措置（護岸矢板の穴を塞ぎ、空洞を埋め戻し）
令和4年5月～	護岸矢板及び空洞の調査
	早期に実施する対策に向けた地質調査、測量、検討
令和5年11月	早期対策（鋼管矢板＋中詰）の工事着手
令和8年3月	早期対策（鋼管矢板＋中詰）200m区間が暫定完成

応急措置



●鋼矢板の穴を塞ぐ



●空洞の埋戻し



○護岸矢板の腐食量調査



○空洞化調査



○工事状況

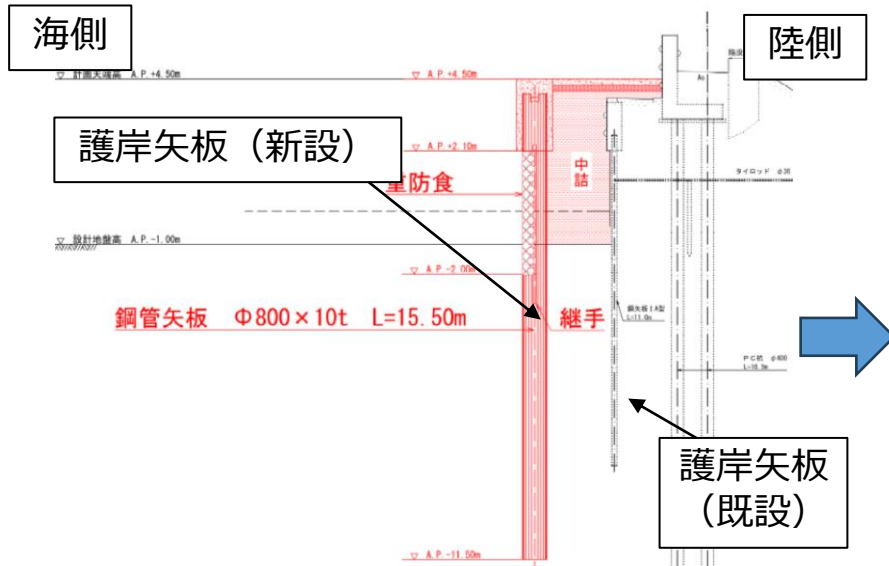


3. 早期に実施する対策

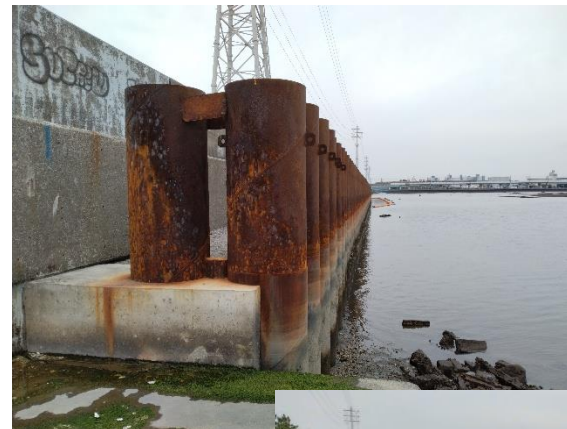
早期対策の方針

- ・ 陥没箇所を含む周辺範囲を対象として、地質調査 2 か所のデータを元に、早期に実施する対策を検討した。
- ・ その結果、護岸矢板の前面に新たに鋼管矢板を設置し、中詰めを行い、コンクリートで覆う構造とした。

早期対策の設計



早期対策の着手



4. 入船地区全体を対象とした護岸補修工

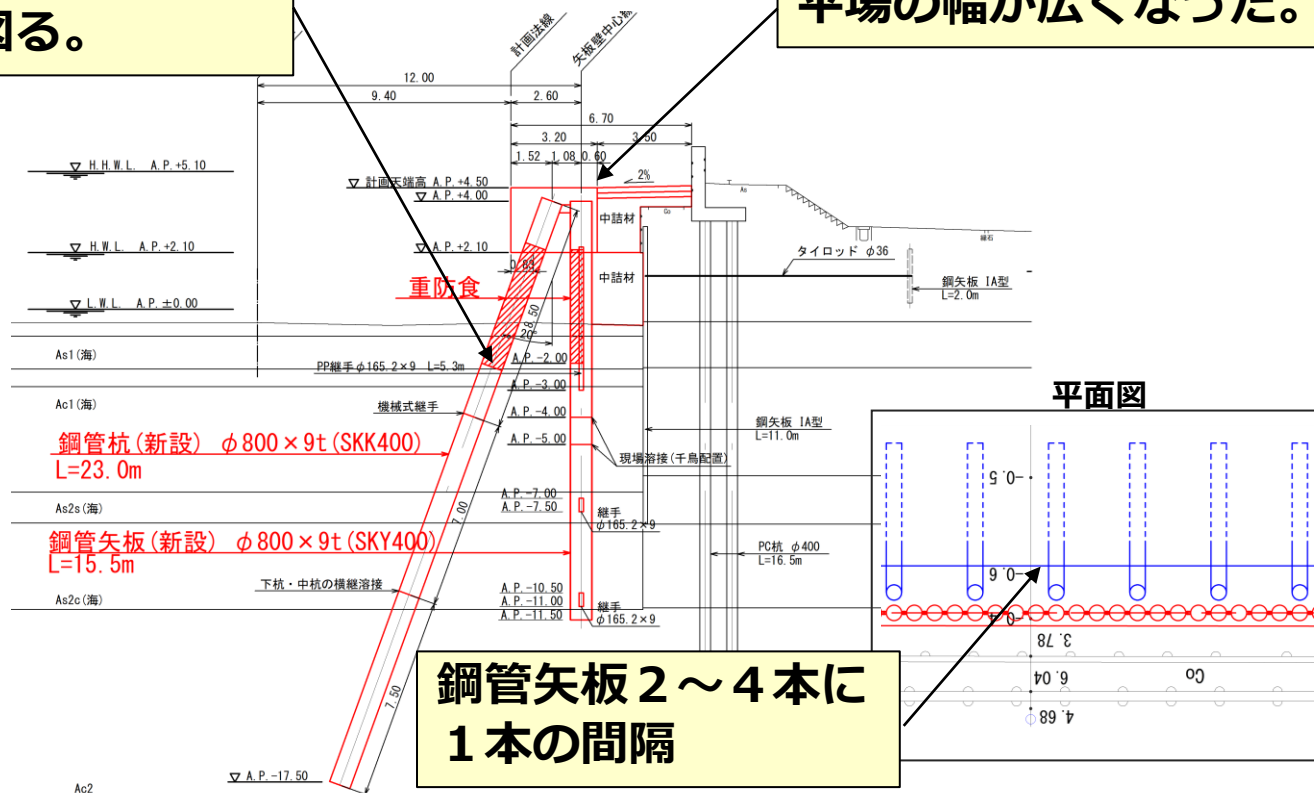
(2) 最終的な護岸の構造

- これまで実施してきた鋼管矢板を用いた基本構造に、追加地質調査の結果を踏まえ、斜め支え杭を設置する。
- 斜め支え杭は、土質に応じて2～4本に1本としており、三番瀬への影響を最小限とした。
- 結果として、平場の幅が広がった。

海側に斜め支え杭を入れて、安定を図る。

(斜め支え杭)

平場の幅が広がった。



5. 前方斜め支え杭の施工方法について



施工状況写真①



施工状況写真②



GRAL1015
(SP6A)

施工イメージ

斜め支え杭は、騒音・振動の
少ない工法にて行う。